



## 2022年度主題 「心を一つに平和を求めよう」

主題聖句 終わりに、兄弟たち、喜びなさい。完全な者になりなさい。励まし合いなさい。思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいてくださいます。

コリントⅡ13:11

コロナ感染症の拡大はいまだ終息を期待できず、世界中に紛争、難民、飢餓に苦しむ人々の群れは絶えません。特にこの8月は平和を考える月として覚えられています。私たちは今、本当に無力であると感じています。しかし聖書は「平和を保ちなさい」と語っています。確かに私たちの中には平和を求める心があります。特に昨今の世界情勢は私たちに平和への求めを強くしていると感じます。争いのあるところ、隔ての壁があるところに、私たちはその思いを強くさせられます。だからこそ、聖書は私たちに答えを示しているのです。「兄弟たち、喜びなさい。完全なものになりなさい。励まし合いなさい。思いを一つにしなさい。」これは、教会の兄弟たちへの呼びかけです。教会がまず、集められていることを喜び、神様に感謝し礼拝をすること、主のみことばに養われ、主と同じものに向かって造り替えられていくこと、与えられた賜物に応じて励まし合うこと、信仰によって一つにされていくこと、これらは教会においてなされることなのです。私たちはコロナ禍で集まることを困難にさせられましたが、神様は私たちに教会へ呼び集め、私たちが本来の姿に回復させてくださろうとしておられます。そして私たちの願うように平和を実現してくださるのです。教会が「愛と平和の神が共にいてくださる」ことを実感するとき、一つ一つの教会は本来の姿を回復し元気になるでしょう。そしてその時、連帯する諸教会全体が回復されていくのです。これは神様が福音宣教のために望んでおられることです。(部会委員長 清水美穂)

月間JB誌に掲載している「今月の賛美歌」をこちらにも紹介しています。

どうぞQRコードをピッと読み込んで

聴いて歌ってください。～同盟教会音楽委員会～

(担当:鈴木敦子)



JB誌9月の賛美歌より  
「祈りの花」  
作詞 野田芳子  
作曲 阿部悦子



松島キリスト教会ver.

捜真教会ver.

## 水戸恵泉キリスト教会

本年1月2日、両親はバプテスマを受けました。コロナもひと時落ち着いた新年礼拝の日でもあり、当日は司会の恵みにも預かりました。

両親の救いのため敷居が低く、良き伝道がなされている教会をと思い、中村師が牧会する水戸恵泉キリスト教会に導かれました。思えば、妻と祈り始め10数年が過ぎ諦めかけていた矢先の事でした。母の決心は早かったが、父と2人での受洗を強く願い受洗は更に遅れました。父は頑なで私の信仰のすすめも、いつも喧嘩腰となりました。しかし、神の恵みと憐れみによって奇跡的に両親はキリストを受け入れることが出来ました。

当日はクリスチャンの兄夫婦、姪、妻、息子で足の悪い父を運び入れてのパプテスマ式となりました。両親は高齢ですが、私は確信しています。夕方やってきたブドウ園の労働者のように両親も等しく恵みに預かることを。

神のなさることはすべて時にかなって美しい。(コヘレトの言葉3章11節)

(豊嶋郁夫)



## 大師新生教会

教会では、ご高齢のかたがた、あるいは仕事の関係などがあり、礼拝にお見えになれないなどの事情があり、事前にお申し出を頂いたかたがたには礼拝の配信をしています。

また「こどもの教会」は7月の第三週から8月中は夏休みに入りますが、10時半からの礼拝で各牧師により、「こども向け」のメッセージを取り入れていきます。これは近隣のミッション・スクールの生徒さんが礼拝に来られることもあり、今年度から取り組みました。

近隣との関係では、毎月第三週の火曜日に午後4時半より「こども食堂」を行っています。スタッフは教会員とボランティアのかたがたで、午後から準備にあたり、4時半までに準備を終えています。料金は中学生までは100円、高校生以上は300円です。現在は、近隣のこどもたちや保護者の方々50名近くが見え、大事な交流の場となっています。

(益 巖)



## 日本バプテスト柏教会の今

柏教会は今年で創立63年を迎えました。60周年記念誌を作ろうと考えていた時に、コロナ禍となり、今まで会堂には40人ほどの人たちがCSの子どもたちが集まっていたが会堂を閉鎖し、オンライン礼拝が続きました。今はハイブリッドで日曜の礼拝は行っております。会堂には15名程度、オンラインでは15名程度の出席です。しかし、オンラインは確認できない人たちもいます。このような状況を思うと前の姿から大きく変わったと思います。互いが「見える」から「見えにくくなった」というのがコロナ禍によってもたらされたものです。

しかし、そこから新しいことも見え始めています。Zoomでのバイブルスタディが始まり、また明確に信仰を告白している中高生二人も与えられています。遠距離やお体の具合によって来られ

なかった方がつながりを取り戻しました。忍耐強く教会の歩みを支えてくださる方々もおられます。「見えにくかった」ことが「見える」ようになってきています。神様が柏教会に用意しておられる計画はどのようなものなのか、はっきりと知るまでにはまだ時間と祈りが必要だと感じています。何はともあれ教会の主であるイエス様が導いてくださることを信じています。

(田島慶康)



## = 地域への福音伝道 =

### 「ろばの子」 日本バプテスト深川教会 新規事業(一時預かり専門託児ルーム)

深川教会は今年度より、「ろばの子」という子育て支援事業を始めました。これは、保育の現場で働いていた教会員の一人から提案されたのもです。「子育てに困難を覚えているママたちの援助者になりたい」「純粋にキリスト教保育をしたい」という願いをCS教師会で打ち明けたところ、「教会の事業としてやれるように祈ろう」ということになりました。『これらの最も小さい者たちの一人にしたことは、わたしにしたのです。』(マタイ25:40)というイエス様のおことばに従いたい、イエス様を背中にお乗せした『ろばの子』のように。」という召命を与えられて教会の皆さんに相談を致しました。

定期総会で新規事業として承認を受け6月より事業開始となりました。現在は一日に1~3人のお子さんをお預かりしています。また毎月一回、親子で参加していただくお楽しみ企画も行っています(詳細は下記QRコードより)。アキスリング宣教師の福音的社会的活動を受け継いだ「深川社会館」は名称だけになっておりましたが、神様は新たなミッションを私たちに与えてくださっていると感じております。今の時代に即した仕方で、福音宣教は教会の使命であり続けます。

(清水美穂)



## ウクライナへの緊急募金

2022年5月27日

### 爆弾の光ではなく、愛の光をウクライナへ

東部ヨーロッパに位置するウクライナでは、2022年2月から続く緊張状態、および8年にも及ぶ東部の紛争によって、市民の命と生活が差し迫った脅威にさらされています。ウクライナ政府管理下にある地域と親ロシア派が支配する地域を分断するコンタクト・ライン(接触線)沿いの治安情勢は非常に不安定な状態が続いて多くの難民が国外へと非難しています。BWAやAPBYFを通して、ウクライナのバプテスト連盟へ支援を行います。

締め切り9月末日

郵便振替口座 (宗) 日本バプテスト同盟  
番号: 00120-9-40133

日本バプテスト海外伝道協会 会長 森島牧人

### 「ママリラ コンサート」 潮来教会・潮来こども園

潮来教会・潮来こども園では、7月31日(日)と8月1日(月)に中野牧師によるピアノコンサートを行いました。

7月31日には「いつも喜んでいなさい」というテーマで、懐かしい日本の歌、パッサ、ショパン他、子ども達も来てくれましたのでディズニーやジブリの音楽も急遽プログラムに組み入れ、私たちの喜びの根源である神さまの救いの恵みをお伝えしました。家庭集会に集っておられる方々やこども園の園児たちご家族、教会員のご家族も来てくださいました。

8月1日は潮来こども園のホールにて、園児のお母さんお祖母さん世代の方々に来てくださり、いつも共にいてくださる神さまの祝福と守りをテーマとして、園長先生の独



唱も数曲交えて主イエス様をご紹介します豊かな時を持ちました。コロナウイルス感染予防対策を確認し見直しながらのコンサートでしたが、音楽を通し、聖書をもってご自身を表される神さま、主イエス・キリストを共に見上げることができました。心より感謝いたします。(中野博誉)